米子市の乳がん・子宮頸がん検診を受けられる方へ

乳がんは、我が国の女性のがんによる死亡原因の上位となっています。
⇒現在、国の指針で死亡率減少効果が認められ推奨されている乳がん検診は、「マンモグラフィ検査」です。
子宮頸がんは、30～40 歳代の女性でかかる人が増えています。

がん検診の最大のメリットは、「早期発見・早期治療による死亡率の減少」です。早期であれば治る可能性が高く、身体への負担が少ない治療で済むことが多いです。また、がん以外の病気が見つかることもあり、ご自身の健康管理に役立てることができます。

ただし、すべてのがん検診には、「デメリット」があります。

・がんは、発生してから一定の大きさになるまで発見できません。また、検査で見つけにくいがんもありますので、すべてのがんが検診で見つかるわけではありません。
・がんでなくても「要精密」と判定されたり、放置しても死に至らないがんが発見されることがあります。

しかし、がん検診はこれらの低い確率で起こるデメリットよりも、がんで亡くなることを防ぐメリットが大きいことが証明されているため、必ず定期的に受診をお願いいたします。

症状がある場合は、検診を待たずに医療機関受診をおすすめします

【症状】

乳：しこり、乳房のひきつれ、乳頭から汁が出るなど
子宮：生理以外の出血、閉経後の出血など

検診で、「要精密検査」となったら、必ず精密検査を受けましょう

精密検査方法は？

乳：マンモグラフィ追加検査、超音波、細胞診、組織診など

子宮：コルポスコープ下の組織診、細胞診、HPV 検査など

※検診は、自治体と各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は、関係機関で共有されます。